

在宅医療連携拠点事業

第一回

上町地区多職種交流会  
事前アンケートまとめ

医療法人明輝会 内村川上内科

在宅医療連携拠点事業推進室

# アンケートへ多数のご協力

ありがとうございました

## ▽アンケートの目的

- ▶在宅医療・介護を行う上で生じる連携上の課題を抽出する

## ▽対象

- ▶内村川上内科を中心とした半径数キロ、人口7万人のエリアの  
医療・介護従事者

## ▽方法

- ▶アンケート用紙をFAX・訪問等にて配布。FAX・訪問にて  
回収

## ▽回収結果

配布数	266部
回収数	111部
回収率	41.7%

# 回答者の分類

## ▽医療系従事者

- 医師（病院）
- 医師（開業医）
- 歯科医師
- 調剤薬局薬剤師
- 看護師（病院・診療所）
- 看護師（訪問看護）
- その他

## ▽介護系従事者

- ケアマネジャー
- PT・OT・ST
- 看護師（介護施設）
- ソーシャルワーカー
- ホームヘルパー
- 介護職員
- その他

# アンケート集計結果報告

# I.医療系従事者へお伺いします。

回答者 43名

Q1.在宅医療に現在スタッフとして参加されていますか？

- 1.はい、現在スタッフとして在宅医療を行っている。
- 2.いいえ、以前在宅医療のスタッフとして参加したことがある。
- 3.いいえ、在宅医療のスタッフとして参加したことはない。

回答者	医師 (病院)	医師 (開業医)	歯科医師	調剤薬局 薬剤師	看護師	その他
1.はい	1	9	3	11	6	1
2.いいえ	0	0	0	2	0	2
3.参加して いない	0	3	1	1	1	2

【1】在宅医療を行うにあたり、介護職員との連携は  
大切だと思いますか？      回答数 37名 無回答 6名

1.はい、大切だと思う。      回答率 100%

2.いいえ、あまり大切だとは思わない。      回答率 0%

3.わからない。      回答率 0%

【2】現在在宅医療を行うにあたり、多職種連携が円滑に  
行えていると思いますか？      回答数 36名 無回答 7名

1.はい、現状で十分である。      回答率 13.9%

2.いいえ、もう少し円滑に行えるように工夫が必要である。  
回答率 80.6%

3.わからない      回答率 5.6%

## II. 介護系従事者へお伺いします。

### 【1】利用者について医療従事者との情報交換の機会は

十分だと思えますか？      回答者 66名    無回答 2名

1. はい、十分に行えている。      回答率      13.6%

2. いいえ、不十分である。      回答率      78.8%

3. わからない      回答率      7.6%

### 【2】利用者のケア状況について、多職種との情報

共有は円滑に行えていると思えますか？

回答者 66名    無回答 2名

1. はい、十分に行えている。      回答率      24.2%

2. いいえ、不十分である。      回答率      62.1%

3. わからない。      回答率      13.6%

### III. 皆さんにお伺いします

【1】在宅医療を行うにあたり連携を取りにくい職種はどれですか？該当するものすべてに○を付けてください。また、特に連携が取りにくい職種に◎を付けてください。

※◎は2点、○は1点として集計

回答者	97名	無回答	14名
-----	-----	-----	-----



### III. 皆さんにお伺いします

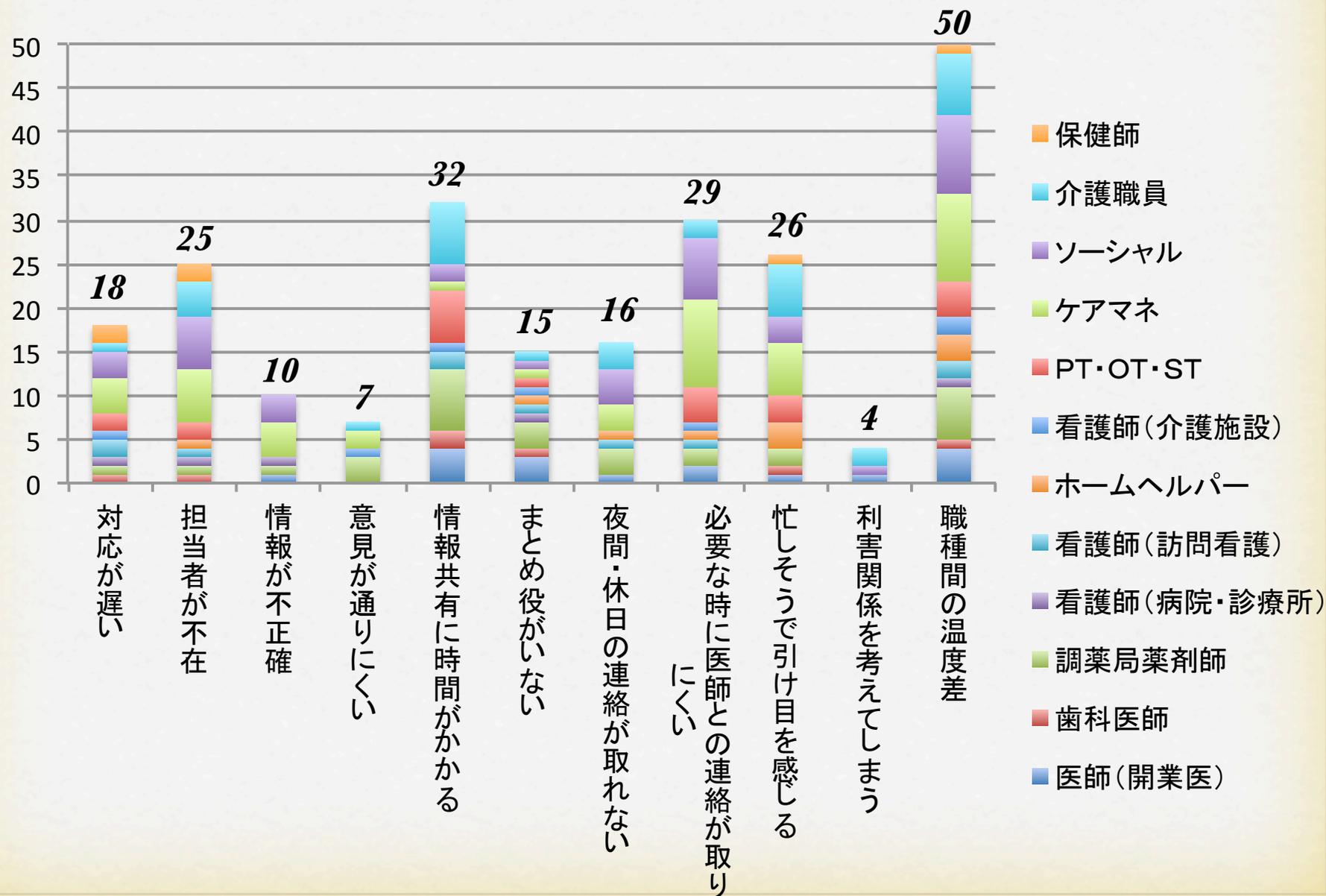
【2】多職種間の連携を行うにあたり、課題に感じることは何ですか？該当するものに○を付けて下さい。（下記の中から3つまで）

回答者 101名 無回答 10名

対応が遅い (返答が遅い等)	担当者不在のことが多く、 連絡が取りにくい	情報が不正確で判断に 迷う
方針決定の際、意見が 通りにくい	情報共有に時間がかかる	まとめ役がない
夜間・休日の連絡が 取れない	必要な時に医師との 連絡が取りにくい	忙しそうで情報を伝える のに引け目を感じる
利害関係を考えてしまう	職種間で情報の捉え方に 温度差がある	その他

参考資料1

# 多職種と連携を行う際、課題に感じること



## ▽その他、課題に感じること①

- ▶患者の家でスタッフ会議がある時に、薬剤師を呼んでくれるところがほとんどない（薬剤師）
- ▶GH入居者で、協力医ではなくかかりつけ医にかかっている方の中で特に家族がすべて対応する場合、病院やDrと連絡が取りにくい（ケアマネ）
- ▶役割分担で遠慮をしまい、お互いどこまで役割を担っていけばいいかわからなくなる時がある。（PSW）
- ▶病院が透析を行っており訪問に出て行く時間がとれない（開業医）

## ▽その他課題に感じること②

- ▶在宅医療を始めたいが処方がない（調剤薬局）
- ▶患者や家族を中心に相談に乗ってもらえない  
（ケアマネ）
- ▶家族の思いはわかるが、一方通行過ぎる際  
介入しにくい（相談員）
- ▶ケアマネと連携をする際に、立場優先で事を進め、  
役場に確認しますと同じ返事が返ってくる  
（看護師）
- ▶多職種とは携帯などで連絡を取り合っており、  
スムーズである（相談員）

# 自由記入欄のご意見①

- ▶（多職種連携の課題は）それぞれだと思う。できる、できないに分けられるのではなく、感じるのは介護施設を併設されているところは対応はいいように思うが、そうでないところや介護について理解のない所は難しい気がする。医療面で細かく指示を下さる事も多くとても助かっている。だんだん連携は取りやすくなっていると思う（ケアマネ）
- ▶もっと地域・福祉・介護などに眼を向けてほしい（相談員）
- ▶必要時に内科（在宅）と連絡を取り合い入・退所、訪問、薬の変更など確認できつつあるが、外来者の情報が掴み辛い。以前に比べると情報量は増えたと思う（施設管理者）
- ▶多職種間での情報のやりとりについて、うまく伝達しきれていないためすべての職種の方が同じ情報をやりとりできればと思う（薬剤師）

## 自由記入欄のご意見②

- ▶在宅で生活されている利用者の方への支援を行っている。医療、訪看さんとの連携の中指示の元仕事ができるように思っている（ホームヘルパー）
- ▶ご本人と家族では今後の在宅生活においての方向性が相違する事も多い。遠慮があったり忍耐で見られたりする。感情の引き出しができて病気の治療にも選択の範囲を広く提供できればいいと思う（ケアマネ）
- ▶看護面、医療面の視点から介護職が拾ってほしい情報は何か知りたい（ケアマネ）
- ▶今後取り上げてほしいテーマ：  
災害時の対応、緩和ケア、食思低下時の医療・介護の役割分担